

『お客様は、イキイキした明るい挨拶を味わいに、お店を訪れる』

文・イラスト 中谷彰宏

text & illustration by Akihiro Nakatani

何度も通うレストランと、一回行っ
たきり、行かないレストランが
あります。

味でしょうか。インテリアでし
ょうか。サービスでしょうか。

また行きたくなるレストランは、な
んか元気をもらえるのです。

味がおいしくて、インテリアがオシャ
レでも、なんか空気がどんよりしてい
るお店には、足が向きません。

せっかく味を研究して、インテリア
にお金をかけているのに、お客様がリ
ピートしてくれないお店は、空気がイ
キイキではなく、どんよりしているの
です。

お客様は、お店で食べ物食べてい
るのではなく、空気を食べているので
す。

飲食業は、イキイキとした空気を提

供しているのです。

イキイキとした空気は、何から生ま
れるのでしょうか。

イキイキとした空気は、挨拶から生
まれます。

朝食で、イキイキした挨拶をしても
らえると、パツと目が覚める気分にな
ります。

ランチで、イキイキした挨拶をして
もらえると、元気が湧いてきます。

ディナーで、イキイキした挨拶をし
てもらえると、仕事の疲れがとれるよ
うな気がします。

お客様は、レストランに、挨拶をし
てもらいに来ているのです。

挨拶を通して、元気を受け取りに来
ているのです。

ただ大声の元気いっばいの挨拶がい
いではありません。

元気がもらえる挨拶は、声の大きさ
より、明るさが大事です。

元気の出る挨拶は、口でする挨拶で
はなく、体全体から来る挨拶です。

流行っているお店では、お客様もス
タッフに、挨拶をするようになります。

お客様がスタッフに挨拶するのは、
スタッフからイキイキした明るい挨拶

をしてもらっているからです。

スタッフに、イキイキした明るい挨
拶を教えるのが、リーダーの仕事です。

お店の空気は、スタッフのイキイキ
した明るい空気で見みだされます。

味は普通でも、イキイキした挨拶で、
おいしく感じられます。

インテリアが少々

古くても、イキイキ
した挨拶で、古さも
味になります。

挨拶から生みださ
れるイキイキした明
るさこそが、味の出
汁になるのです。

イキイキした明る
い挨拶を味わいに、

お客様はそのお店に
また行くのです。

また行くのです。

Profile

1959年生まれ。主な著作に「セクシーな男、男前な女。」「人脈」を「お金」にかえる勉強」「なぜ、あの人は「本番」に強いのか」他多数。

【中谷塾】で講演活動を行う。詳しくは、HPで。

<http://www.an-web.com/>

